



第143号(季刊)

令和4年7月

田中野田町内会



田中野田HP

<http://townweb.e-okayamacity.jp/c-tanakanoda/>

町内会ホームページ QRコード ↑

自然災害に備えて -2-

田中野田町内会

副会長 4組 脇坂利彦



皆様には、平素から町内活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。ここ数年、集中豪雨の要因として「線状降水帯」という言葉を聞くようになり、被害軽減のため6月1日から線状降水帯による大雨の可能性について情報提供が開始されます。判断材料として有効に活用したいものです。出水期を迎えたこの時期は防災関連の報道が多くあり、早めの避難行動が呼びかけられています。

各家庭でハザードマップを確認して、いつ、どこへ、誰と、どうやってを決めておきましょう。

また、垂直避難(屋内安全確保)を含めて避難行動時に手助けが必要な場合は、事前に誰に何を頼むのかを決めておき、情報共有しておく事が重要な備えになります。

(田中野田 自主防災組織では岡山市の指導で「個別避難計画」の作成に取り組んでいます)

南海トラフ地震の場合、御南地区では震度6弱から6強の揺れと液状化のリスクが示されています。広範囲、大規模な被害が予測されるので各家庭の状況に合わせた対策と備えが必要です。

以下に“岡山市防災マニュアル - 詳細版 - 6版”「災害への備え」の一部を紹介します

①家族で話し合おう/マイ・タイムラインの作成

災害の発生に備え、各自の役割分担や連絡方法、避難方法などを予め話し合っておきましょう。

②家の中の安全を確保しよう/家具・家電の転倒防止

いつ起こるか分からないからこそ日頃の備えを怠らない様に。まずは実践してみましょう。震度6強では動くことが出来ない。固定してない家具の大半が移動し倒れるものも多数。耐震性の高い木造家屋でも壁に亀裂が発生する事があります。ガラスの破損、閉じ込めなどの危険もあります。

③非常持出品を揃えよう/避難所で2~3日間過ごす時に必要な持出品

災害の危険が迫り自宅から避難する時に最初に持ち出す物、非常持出袋などにまとめ、すぐに持ち出せる場所に用意しておきましょう。

④非常備蓄品を揃えよう/自宅で7日間過ごす時に必要な備蓄品

大災害発生時、支援物資がすぐに届くとは限りません。コンビニなどのお店にも人が殺到し、商品がすぐになくなる可能性もあります。電気、水道、ガスといったライフラインは、大地震発生直後は停止して、利用出来なくなる事を覚悟しておきましょう。

ローリングストック

無理なく備蓄する為にローリングストックを実践しましょう。



マイ・タイムライン

マイ・タイムラインとは、台風などによって河川の水位が上昇し危険が迫る時、自分自身がとる標準的な防災行動を時系列に整理するものです。家庭で決めておきましょう。